



## 月曜日の朝

月曜日の朝、学級タイムで教室に入ると、早速教室の入り口のそばに座っている●●さんと●●さんが寄ってきた。

大：先生、合唱の結果、見た？

武：見た？見た？

保：朝、学校に来たとき、音楽室の前を通ったけど、結果を張ってなかったから、まだ見てないよ。

大：じゃ、見た方がイイですよ。(ニヤツ)

武：見た方がイイですよ、イイですよ。

保：優秀賞だから、まあイイんじゃないの。

大：それだけじゃないんですよ。

武：ほんと、ビックリ。

保：分かってるんだったら、教えてよ。

大：いや～、これはやっぱり自分で見た方がイイと思います。(割とまじめな顔)

武：思います、思います。

保：なんかイイことあったの？

大：いやいやいや～(割とまじめな顔)

武：でも、ここにあるから、見せちゃおっかな～～(と、スマホの写真を探す)

武：ほら、これ。これが2年。優秀賞。で、これが3年生。

大：ヤバイですよ。だって、3年生の2クラスよりもイイんですよ。

保：えっ、まさか～～

大：ほら、25Rは803点で、●Rは●点、●Rは●点でしょ？

武：でしょ？ でしょ？

保：ホントだ～～スゴいねえ～

大：ふん！

武：うふふ… (以下、省略)

\*

…ということで、立派な結果で何よりである。

1年生が2年生を逆転するということは、それなりにある。1年生の方がまだわけが分からずまじめに練習するし、易しめの選曲をしてしっかり仕上げると、ちょっと工夫した選曲をして失敗した2年生よりも、仕上がりとしてはよく聞こえたりすることもあるからである。4月からの新クラスであるという条件も同じだ。しかし、クラス替えがなく、早いところでは2年生の終わりから練習を始める3年生を逆転するというのは、私の長い経験を振り返ってもなかったことだと思う。だから、梁田賞も！……しつこいか(笑)。

\*

月曜日の朝、金曜日に練習しっぱなしで後にした教室が、登校してきた時にはキチッと元に戻っていたのはお分かりだろうか？朝早く登校した●●くんが、一人で全部やってくれたのである(ちなみに、隣の教室では、朝早く登校した生徒が、後ろに下げられた机そのまま、その中の自分の場所に入り込み、狭苦しそうに勉強していたが…)。こういうところに気づくことなく、当たり前のように自分の席についた人もいるだろうけれど、誰に頼まれるともなく、こういうことをサラッとしてくれる「縁の下の力持ち」みたいな存在があって、クラスは回っているのだということも、ちゃんと認識してほしいと思う。そして、認識できたのなら、感謝の気持ちをさりげなく伝えることも大切なことなのではなかろうか(本人は、そんなこと期待していないと思うけど…)。